

## あざ、母斑の治療

### <あざの種類>

主に色によって次のような代表的疾患に分けられます（他にも種々の疾患があります）。

赤あざ：単純性血管腫（毛細血管奇形）、莓状血管腫

青あざ：異所性蒙古斑、太田母斑

茶あざ：扁平母斑、ベッカー母斑

黒あざ：色素性母斑、ほくろ

### 赤あざの治療

#### ・単純性血管腫（平坦な赤あざ）

レーザー治療機器、V-beam™（Ultra-Long Pulsed Dye Laser）を用いて治療します。皮膚を冷却しながらレーザーを照射するので、より安全に照射することが可能です。通常2～3か月ごとに繰り返して照射します。

### 症例



治療前（7か月）

6回照射後（2歳）

12回照射後（4歳）

#### ・莓状血管腫

一般的に生後2週間程度から生じる隆起性の血管腫。

レーザー治療機器、V-beam™（Ultra-Long Pulsed Dye Laser）を用いて治療します。早期からレーザー治療を行うことで、退縮するまでの期間を短縮する可能性、退縮後の瘢痕が軽微になる可能性があります。

## 症例



治療前（生後 4 か月）



治療後（3回照射後 1歳3か月）



V-beam Perfecta™  
( Ultra-Long Pulsed Dye Laser )

### 青あざの治療 —異所性蒙古斑、太田母斑—

- ・色の濃い異所性蒙古斑、太田母斑は治療の適応があり、Q スイッチルビーレーザー（ The Ruby Z1™ ）を用いて治療します。

幼小児期から治療可能ですが、治療の面積や部位によっては全身麻酔が必要になることがあります。

通常3～4か月ごとに繰り返して照射し、照射後は1週間程度軟膏の塗布が必要です。

#### 茶あざの治療 ー扁平母斑などー

- ・Qスイッチルビーレーザー（ The Ruby Z1™ ）を用いて治療します。  
再発する可能性が高いため、試験照射を行ってから治療を行います。  
照射後は1週間程度軟膏の塗布が必要です。

#### 黒あざの治療 ー色素性母斑、ほくろなどー

- ・Qスイッチルビーレーザー（ The Ruby Z1™）、炭酸ガスレーザーを用いて治療します。  
外科的治療（手術）や電気凝固療法などが適応になる可能性もあります。



The Ruby Z1™

他にも色々な疾患がありますので、受診して相談してください。